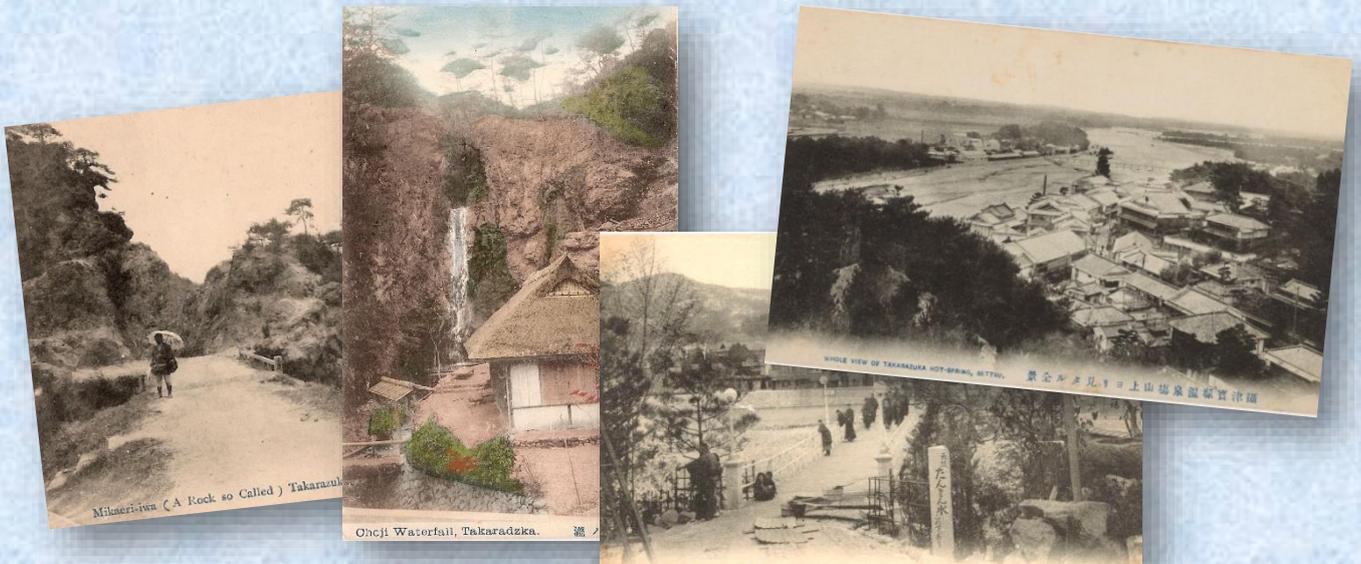


宝塚八景と“タンサン”をめぐるって

明治の頃、宝塚への観光客誘致のため、「宝塚八景」が定められました。今では昔の絵葉書や古写真でしか見ることのできない古き佳き宝塚の原風景がそこにはあります。また宝塚でウィルキンソン氏により炭酸泉が発見されて135年、「ウィルキンソンの日」（7月15日）も制定されました。そしてその景観や炭酸には宝塚の地質も密接に関わっています。

「第2回地学さんぽ in 宝塚」では、宝塚八景と炭酸ゆかりの地を訪れます。



【主な見学地】見返り岩・丁字ヶ滝（宝塚八景）、武庫川河原での岩石観察、炭酸湧出地、間欠泉などを訪れる予定です。

開催日：2024年11月30日（土）午前9時30分～11時30分

※雨天中止。当日の気象条件等によりコースを変更する場合があります。

※集合場所（宝塚駅周辺）やコース等詳細は参加者に返信はがき（参加券）にてお知らせ致します。

応募方法：往復はがきにてお申込み下さい。

※詳しい応募方法はこのチラシの裏面をご覧ください。

申込期限：2024年11月15日（金）必着

募集人数：10名（一般の方）

参加費：おひとり1,000円（当日現地にて徴収）

行程約2km。概ね平坦な舗装道路ですが、一部足許の悪い場所もあります。ハイキング程度のご準備をお願いします。

ご案内： 田野一哉：宝塚地学会・元宝塚市立中央図書館館長
澤田 操：宝塚地学会

主催：宝塚市立公民館 指定管理者 アクティオ株式会社

協力：宝塚地学会 後援：宝塚市教育委員会

このチラシの裏面を必ずご確認ください。